

平成30年度 加古川南高校 インスパイアハイスクール事業

活動報告

事業 : 「災害・防災」共同研究 第2回
テーマ : 来るべき未来に備える ～「避難と避難行動」をきっかけに～
講師 : 兵庫県立大学環境人間学部 木村 玲欧 准教授
実施日 : 平成30年6月24日(日)
場所 : 神戸市防災コミュニティセンター
参加者 : 6名

この日、神戸市消防局が主催する防災マネジメント研修に参加しました。まずは木村玲欧先生から上記のテーマで講演をしていただき、災害は「めったに起きないもの」から「頻繁に発生して、その度に命を脅かすもの」へと変化していること。そして、災害を「他人ごと」ではなく「わがこと」として捉える必要があることを教わりました。また、今後南海トラフ地震が起きる確率や起きた場合に想定される被害状況、災害時の避難方法に関する基本的な知識についても情報を提供していただきました。途中、いくつかの学校での防災訓練の様子を動画で視聴しましたが、職員・生徒間での意識の差を無くすこと、そして「この状況にはこうする」という行動のパターンを訓練の中で徹底させておくことをしなければ、どれだけ訓練しても無意味なものになってしまうと感じ、これまでの防災訓練のやり方を見つめ直すきっかけとなりました。

後半には地域の方々とグループを作り、「災害に対して、自分・周囲・地域が避難行動をとる際にどのような問題・課題があるか」というテーマで話し合いをしました。それぞれが問題点を付せんに書き出し、カテゴリー分けをしたものを模造紙にまとめていきました。この話し合いの中で出た課題として、「高齢者の避難方法」「避難時における情報共有の仕方」などがありました。

最後に、それぞれのグループが発表をし、考えられる問題点や解決策を確認し合って研修を終えました。生徒たちは、初めて会う地域の方々と一緒に話し合いや作業をすることに最初は緊張している様子でしたが、次第に自分の意見をしっかりと話すようになっていきました。ここで学んだことを自分達の進路実現にぜひ活かしてもらいたいと願います。



